

見守り（A）

なぜ・誰のために	いつ	どこで	どのように	その他
【子ども】 ・地域に住む子どもたち （何かあったときにかけこめる） 【高齢の方】 ・地域に住む高齢の方 （何かあったときのSOS） 【引きこもり】 ・引きこもりの介護者（40～50歳代）（親が高齢化している）	【定期的に】 ・定期的に（月1回） 【日常的に】 ・日常的に（主として登下校） ・庭に出ている時（声をかけよう） ・買い物の時 【登下校・習い事の帰り（夜）】 ・小学生の登下校 ・習い事の行き帰り（夜の見守り） 【いざという時】 ・いざという時（不審者、大雨、地震など） ・ゲリラ豪雨やJアラートなどの時、とっさにかけこめる（こども110番）	【近所の集会所】 ・近くの会場で（桜実会、ふれあい広場） 【自宅のまわり】 【商店街】	【こども110番】 ・何かあった時にかけこめる（子ども） ・ハロウィンまつりの共有感も活かして ・こども110番はどこに申し込むのですか？ ・こども110番がすべき内容は？ ・こども110番の地域体制化？ 【声かけ、あいさつ】 ・特に見守り制度を設けなくても、下校時や買い物の帰りとか庭に出ている時に声をかける 【地域と学校の連携】 ・地域と学校が連携して ・一緒に組織をつくる（本部）←コミュニティ・スクール？ 【当番制で】 【さりげなく】 ・高齢者で特に援助をされるのは気がすまない方は近所の方がさりげなく動向を見守る	【責任は？】 ・「見守り」の責任者は？ ・見守りで分からないことはどこに、誰に聞けばいいか？ 【本当に安全？】 ・“知らない人とは話さない”をどうするか。 ・こども110番が本当に安全かどうか、地域の人でチェックする ・こども110番は抑止力になる ・支援の必要性を感じない人に対してどう関わっていくか ・他人とのコミュニケーションをとりながら、就労までできればいいかな
		誰が 【地域全体で】 ・住民の方が ・地域の高齢者（やりがい） ・地域と学校の連携で ・子どもと大人でお互いに見守りあう 【在宅の高齢者】 ・高齢者家庭が在宅が多いのでよい（こども110） 【関係専門機関】 ・臨床心理士、（障がい者支援センター）就労支援		

見守り（B）

なぜ・誰のために	いつ	誰が	どのように	その他
【高齢者（認知症）】 【高齢者（独居）】 【子ども（学童）】 【引きこもり】 ・65歳以下の引きこもりの人 ・認知症の診断を受けていない人 ・高齢者にいつまでも元気で居てもらう ・社会的に孤立しているから ・見守られていることで安心感が得られる	【日常（いつでも）】 ・日常、日頃、いつでも（時間を特定しない） ・自然な形で、庭仕事やおつかいで外に出る時、ごみを出す時 ・登下校 ・習慣にする ・防犯パトロールの時 ・1回／週間	【相談の受け手】 ・相談を受ける人 ・町内会 【地域住民】 ・地域の方、住民みんながお互いに ・ボランティア ・多機関の連携	【仲間づくり】 ・仲間をつくる（高齢者） ・声かけする ・家から出てもらう（誘う） ・友人・知人をつくる（高齢者） 【訪問】 ・居住地に訪問 ・防犯パトロールで1軒訪問 ・地区社協に来てもらう ・挨拶する ・電話で ・高齢者110番の家 ・目立ちやすいベスト ・横断旗等（学童）	・実施報告会（ステップを踏んだ） ・高齢者支援センターの活動の広報
	どこで 【集会場など】 ・ご近所、集会所、サロン等、集合場所 【居住地】 ・自宅、住民居住地 ・学校近くの横断歩道 ・向こう三軒両隣 【地域の中（どこでも）】 ・地域の中、どこでも（児童）			

居場所づくり (C)

なぜ・誰のために	いつ	どこで	誰が	どのように	その他
<p>【高齢者】 ・体の不自由な高齢者が楽しめる場所があると良い</p> <p>【子ども・親】 ・小中学生、妊婦、子育て中の親 ・次世代のために</p> <p>【地域交流】 ・地域住民 ・町内会員 ・地区の連帯づくり</p> <p>【その他】 ・話をしたい方、聞いて頂きたい方 ・楽しみが欲しい方 ・転入者 ・独居者</p>	<p>【常時】 ・日中</p> <p>【季節に応じて】 ・夏…盆踊り</p> <p>【時間を決めて】 ・午後4時前後 ・平日15時～17時</p>	<p>【学校】 ・小学校(空室)、夏休み中の学校 ・オープンな地域に開かれた学校</p> <p>【こころ児童館】 ・小中学生がゲームばかりしないで、皆でスポーツや楽しめる場所があると良い</p> <p>【会館】 ・集会所、身近な歩いて行ける会館、 ・〇丁目ごとの会館</p> <p>【ご近所】 ・近所(あちこちに点在) ・空家(空室) ・庭、個人のお宅の開放 ・ベンチが公園にもあると高齢者も行ける ・連帯作りは近くの公園等を基点としてイベントを(例:防犯パトロール)</p>	<p>【町内会】 ・町内会、自治会員全体 ・ボランティアグループ</p> <p>・地域コーディネーター(つなぐ役割)</p> <p>・ガキ大将→いないので大人が代わりに</p> <p>・大学生、中高生でもり上げる!</p>	<p>【おしゃべりだけはむずかしい】 ・参加者の希望(ニーズ)で決める、 ・男性が関心をもてる内容で ・食を共にする、物を作る(作業)</p> <p>・盆踊り、カラオケ、踊り、囲碁・将棋</p> <p>【子どもは遊びからたくさん学ぶ】 ・公園で遊ぶ(ex キャッチボール)←大人のフォロー(高齢者など往年の野球少年)</p> <p>・町内会施策、防犯パトロール、見守り、 ・子ども110番の家</p>	<p>・町内会地区会の支部単位での連帯づくり</p> <p>・交流の場を広げる</p> <p>・地域の交流(生きがい)</p> <p>・生活圏が大切→知り合いがいること</p> <p>・市の職員のフォロー</p>

生活支援 (D)

なぜ・誰のために	いつ	誰が	どのように	その他
<p>【支援が必要な高齢者】 ・日常生活に困りごとのある高齢者の為に ・地域の高齢者 独居、認知症←見守り支援</p> <p>【家族】 ・高齢者を支援している家族</p>	<p>【すぐに】 ・高齢者、健康作り、医療費が高騰している。 毎月、定期的にコミュニティセンター、継続フォロー</p> <p>・すぐ活動スタート 2025年目標(順調に活動)</p> <p>・ちょっと困りごとが出たとき</p> <p style="text-align: center;">どこで</p> <p>【地区社協で】 【町内会支部・自治会】 ・近所や小さい地域の中で</p>	<p>【近隣住民】 ・住民の町内会へのより参加</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象:町内会不参加の住民、団体 時期 新年度 町内会執行部、理事検討 1への広報活動 <p>・近隣に住む老いも若きも</p> <p>・日常生活上のちょっとした困りごとを近隣の協力者がサポートする(地域の支え合い)</p> <p>【学生】 ・地域住民と近隣大学の協同</p> <p>【自分】 ・自分ができる時にまわりの方をサポートする!→「明日は我が身」やがて、支援を受ける立場になることを自覚して</p>	<p>【市との協働】</p> <ol style="list-style-type: none"> 人…ボランティアポイント制度 物…パソコン等 市の助成 場所…拠点(事務所)がほしい(電話とかには拠点の場所が必要) 運営…ボランティア保険は市がやるべき 情報…(団体がやるべき)地区社協ニュースとか。市のものは市、地区のものは団体が出す 地域交流…市と活動の団体の交流で地域の活性化につながる <p>・市の支援(協働)</p> <p>・必要な支援:研修、学習会支援</p> <p>【社会資源(人・場所)】 ・地域の資源を使って(空き家、集いの場合む)</p> <p>【互助】 ・ご近所に近い住民どうし互助で</p> <p>【授業・ゼミの一環】 ・授業の一環として学生に参加してもらおう(単位)→継続して卒業後も来てくれる人がいる</p> <p>【周知】 ・生活支援活動の周知、PR(回覧板、チラシ、ポスター)→必要とする人に伝える</p>	<p>・町トレでつながった人脈をつなげて</p> <p>・町内会をつかって</p>